

週報みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

三重県漁業協同組合連合会 第75回通常総会 —6月26日(水)-水産会館—

6月26日(水)、三重県水産会館において、三重県漁業協同組合連合会の第75回通常総会が開催された。

冒頭に濱口慶太会長が挨拶を行った後、議事では、2023年度事業報告や2024年度事業計画など、全10議案が諮られ、全て原案通り承認された。

なお、その後の理事会、監事会において、代表理事会長他の互選を行った結果、以下の通りに決定した。

代表理事会長	濱口 慶太
常務理事	植地 基方 (新任)
〃	辻村 巧 (新任)
〃	濱口 肇 (新任)
理事	矢田和夫 鈴鹿市漁協代表理事組合長
〃	杉田英男 伊勢湾漁協代表理事組合長
〃	木下和行 鳥羽磯部漁協代表理事組合長
〃	濱口利貴 鳥羽磯部漁協常務理事(新任)
〃	清水三千春 三重外湾漁協代表理事組合長
〃	長井 理 三重外湾漁協常務
〃	田邊善郎 三重外湾漁協理事 (新任)
〃	濱口茂男 三重外湾漁協理事
代表監事(常勤)	服部 弘 (新任)
監事	山川範恭 鳥羽磯部漁協理事(新任)
〃	西堀 潤 三重外湾漁協常務理事(新任)
〃	濱田浩孝 三重外湾漁協理事



(濱口会長の挨拶)

第72回浅海増殖研究発表全国大会 —6月6日(木)-アストホール津—

6月6日(木)、三重県アストホール津において、第72回浅海増殖研究発表全国大会が行われ、三重県での開催は25年ぶりとなった。

全国6県より6題の研究発表が行われ、本県の伊曾島漁業協同組合が、「桑名のり存亡の危機を集団管理で乗り越える」を発表し、見事大会最高賞である、農林水産大臣賞を受賞した。



(受賞式の様子)

**漁業士会・漁青連合同総会
—6月29日(土)・松阪庁舎—**

6月29日(土)、三重県松阪庁舎において、漁業士会と漁青連による合同総会が開催された。

漁青連代表として挨拶した中村有介会長は「水産業を取り巻く環境は、水産資源の減少、漁場環境の悪化など、我々漁業者にとって非常に厳しい状況にある。このような状況を改善するため、私たちは多くの方々からご協力いただき、PR活動や環境保全対策など、様々な取り組みを行い、漁業界の発展に寄与していく」と述べた。

また、両団体とも、2023年度の事業報告や、2024年度の事業計画など全4議案について諮り、全て原案通り承認された。



(中村会長の挨拶)

**第7回 “日本の食品”輸出 EXPO
—6月19日(水)~21日(金)—
—東京ビッグサイト—**

東京ビッグサイトにて「第7回 “日本の食品”輸出 EXPO」が開催された。会場では、世界に誇る“日本の食品”が一堂に集まり、三重県漁連としては『伊勢まだい』、『伊勢ぶり』、『三重県産海苔海藻類』等を海外バイヤーに売り込むため PR 活動(商

品展示、パンフレット配布、養殖漁場とのライブ中継等)を3日間行った。

弊会ブースには約120組の訪問があり、ベトナムや香港、シンガポール、タイ王国等のインポーターやバイヤーと商談が行われ、今後の輸出展開が期待される内容であった。



**2024年度黒のり漁期前研修会
8月17日(土)開催決定
—華王殿(松阪)—**

本研究会は、昨漁期の状況や課題等の意見交換を、講師の先生方による講義を交えて毎年開催している。昨年に引き続き本年度も、名城大学の鈴木輝明先生による講演を予定している。

【主な予定】

- 7月9日(火)
磯焼けに関する情報交換会(松阪庁舎)

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。